

特集：＜言語地図＞

イタリア言語地図

菅田茂昭

Gillieron (1854-1926) の言語地理学は、語にはそれぞれの歴史があり、したがって音韻法則の適用には限界があることを指摘することにより、少壮文法学派への一種の反動として生まれたものであったが、その後継者をまずは祖国スイスに見出すことになった。

すなわち Karl Jaberg (1877-1958) と Jakob Jud (1882-1952) の二人の学者であり、イタリア言語地図の完成はこの二人の学者によるものである。Sprach- und Sachatlas Italiens und der Südschweiz (略称 = AIS [Atlante italo - svizzero]) と名付けられ、1928年刊行を開始し、1940年刊了、8巻からなり、1705枚の地図を収めている。さらに1945年および1956年に2巻追加、1960年にはABC順のINDEXを出版している。採集調査には3人の学者が当たった。南スイス・北伊・中伊の部分は Scheuermeier が6年間、南伊とシチリアは G. Rohlf s が15ヶ月かけており、サルジニアは M. L. Wagner (1880-1962) が担当した。さきフランス言語地図(略称 = ALF) が1人の調査者 Edmond Edmont (1848-1926) により作製されたのに反し、このイタリア言語地図は複数の調査者により、したがって速やかに地図の実現をみたわけではあるが、調査・採集上の統一という点では若干の問題を残すこととなった。しかしながら全体としてフランス言語地図と比較して著しく改良されている。正規の質問書(354地点)のほか、簡易質問書(28地点)と詳細質問書(30地点)が併用されたこと、調査の対象とする事物を充分考慮して、地図の端に絵やスケッチを載せたこと、配列をABC順とせず、概念別にしたこと、さらに被験者の反応状況についても記録されていることなどである。ただ惜しまれることは採集者がイタリア語が母国語でなかったことが音声表記の上に影響を及ぼしていることである。しかしこのことはこの地図がイタリア語学者にとって欠くことのできない画期的な存在であることを妨げるものではない。(AISは久しく絶版となっていたが、間もなく翻刻版が刊行される予定である。なお、転載した地図は Karte 864 である。)

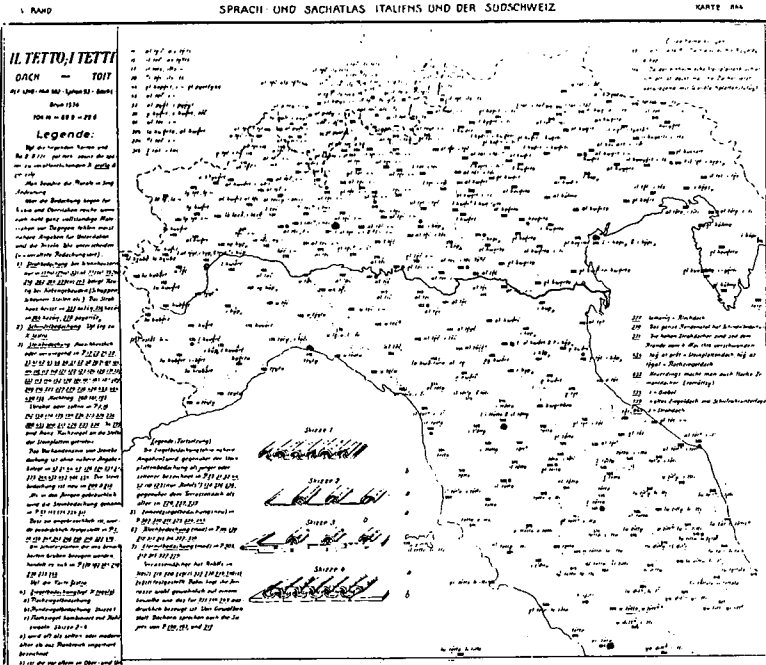
一方、より密度の高い言語地図の計画もイタリア人学者の手により進められていた。Matteo Bartoli (1873-1946) が Ugo Pellis (1882-1943) と G. Vidossi (1878-1969) の協力のもとに着手したイタリア言語地図 Atlante Linguistico Italiano (略称 = ALI) である。Bartoli は Gillieron に習って調査者を1人(Pellis)に絞ろうとした。約40年の歳月を経た1965年秋約1000に及ぶ質問書も一応完成し、目下 Società filologica friulana からの援助により整理・刊行が計画されているようである。AIS をかなり上回る規模のものとなる予定である。なお、1943年 Pellis の他界とともに1人の調査者によるという原則は崩れ、さらに続く Bartoli 自身の死により中断したが、やがて新しい刊行委員会が結成され、B. Terracini に受け継がれ、C. Grassi, T. Franceschi などが調査者となったが、その Terracini 亡きあとも、ひき続きトリノ大学に刊行本部が置かれ Bollettino dell'Atlante Linguistico italiano はその中間報告を行なっている。1964年には Terracini と Franceschi は Saggio di un atlante linguistico della Sardegna (2巻 Torino) を発行している。ALI に関する

新しい情報は C. Grassi : Lo stato dei lavori dell'Atlante Linguistico Italiano (Udine, 1970) に詳しい。

以上のほか、コルシカに関しては Gilliéron 自身が Edmont の調査協力により 1914 年出版した Atlas linguistique de la Corse (4 分冊) があったが、トスカナ方言と深い繋がりをもつコルシカ方言に対してフランス人 Edmont は十分な耳をもたなかったことが、この地図に多くの問題を残してしまった。このため AIS にも含まれなかったコルシカの新しい言語地図は、カリアリ大学の Gino Bottiglioni (1887-1963) により Atlante linguistico etnografico italiano della Corsica (略称 = ALEIC) として 1933 年刊行開始し、1944 年 10 巻をもって完成、1952 年 INDICE が加えられている。

なお、G. B. Pellegrini のもとに Padova では、Atlante storico-linguistico-etnografico del Friuli-Venezia Giulia (略称 = ASLEF) が完成間近か、一方 G. Francescato を中心に Atlante linguistico alpino (略称 = ALAIP) も計画されている。

さいごに、地中海領域にわたる地図として 30 数年前に M. Deanović が提案し、現在 C. Battisti が監修している Atlante linguistico mediterraneo (略称 = ALM) の完成が期待されている。地中海 165 地点に及ぶ港において海洋・漁業語約 800 語に関して採集・調査されていて、イタリア語はその約 50 地点を占めている。



上図は AIS (Karte 864) の一部。原図の大きさは 41.0 × 53.7 cm.